

授業はプレゼンだ！

「伝えること」の重要性をいつもの授業で伝える

近藤麻理

教員に必要な授業する力、発表する力

新保幸洋

プレゼンテーション力で授業を変える方法

八幡紘芦史

教育や実践を豊かにするプレゼンテーション

佐瀬竜一

【座談会】プレゼンテーションワークショップを経て、授業をどう変える？

佐瀬竜一／八反田希望／小倉久美子／松澤亜希子／松浦佳代

【特別記事】

公開収録「教育実践を研究にするSoTLと研究デザインワークシートのつくり方」第2部

佐藤浩章／山上優紀／赤木優也

【連載】

専門看護師とともに考える実習指導のポイント 昭和大学の臨床教員の立場から・2

石原ゆき／山崎千恵子

核心に迫る授業改善 インストラクショナルデザインによる事例検討・2…… 平岡育士

医療通訳 in バンクーバー・2…… 高橋麻貴子

障害や病とともに学ぶ、働く・4 (最終回)…… 瀬戸山陽子

看護師のように考える コンセプトにもとづく事例集・5…… 奥裕美他

臨床倫理を映画で学ぼう！・5…… 浅井篤

つくって発見！ 美術解剖学の魅力・17…… 阿久津裕彦

看護教育 第60巻 第4号

2019年4月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2019,

Printed in Japan

(1部) 定価: 本体1,600円+税

2019年・年間購読料(増大号を含む12冊)

冊子版15,540円

冊子+電子版/個人18,540円

電子版/個人15,540円

(いずれも+税、送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院

代表者: 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776

メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp

担当: 番匠・大野・近江

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY

〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(JCOPY) (電話03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。0047-1895/19/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/JCOPYが本誌の真表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

「看護教育」は、株式会社医学書院の登録商標です。

編集後記

今号より3つの新連載が始まりました。大抵は臨床看護師の教育にのみ携わっている専門看護師が学生の実習指導にもかかわる昭和大学の実践をもとにしたアドバイス。インストラクショナルデザインをもとに教員のお悩みをトーク形式で解決していく授業改善提案。医療通訳サービス会社を経営する筆者のカナダでの医療、看護、生活の紹介。どれも読者の皆さんに楽しく読んで役立てていただけるように、内容を充実させていくつもりです。ご期待ください。

さて、始まりあれば終わりありで、10年余り担当した本誌を離れ、看護書籍編集に携わることになりました。この10年、常に看護教員の教育力アップに貢献してきましたが、まだまだ課題は残っています。皆さんがこれからも、教育力はもちろん「教員力」もアップしていただくことを期待しています。(大野)

一方、自分は着任して5年目になりました。この間、門外漢としてさまざまなお立場の先生とお話させていただきましたが、誰1人として、看護教育で、実習よりも講義でこそ学生が伸びる、と仰る方はいませんでした(もしいらっしゃったら、ぜひお話を伺いさせてください)。

人はその現場においてこそもっとも多くを学ぶとするならば、先生方にとって、学校や実習指導こそが、最良の「学ぶ場所」といえるのではないのでしょうか。もちろん、多くの有用な書籍やセミナーがあります。ただ、実習現場は、学生の成長だけでなく教員や実習指導者にとっても成長できる場だという思いから、本特集を企画しました。小誌も含め、先生方の現場でのお悩みやうまくいかなさを一つひとつ乗り越えていくための、お手伝いができればと思っています。引き続き、よろしくお願いします。(番匠)

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,600 円＋税
59 巻までは本体 1,500 円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.60 No.3

2019 年 3 月

特集

地域包括ケアにむけた教育ってなに？

厚生労働省が 2025 年を目途に、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立し、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるようにするという、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

まだまだ定義も概念もあいまいではありますが、今後、施設から地域へ医療の現場もシフトすることが、より一層求められることは間違いないでしょう。

長年、卒後は病院勤務を念頭に置いてきた教育がされてきた看護教育においては、発想の転換が必要となります。

もともと地域看護や在宅看護の学びを充実させてきた教育機関も少なくないでしょうが、それを教える先生方の準備はいかがでしょうか。

外部講師に頼るだけでは、地域包括ケアにむけた教育は不十分かもしれません。

今回は、話題にはなるものの、学校・大学や教員がいかに取り組むかはまだ模索中である地域包括ケアにむけた教育について、さまざまな立場からご意見を述べていただきます。

患者を施設から地域に帰した方がいいが、それで「看護」と無関係になってしまうことがないよう、基礎教育の時点から対応を考えてみてください。

■ 地域・在宅看護教育の現状に足りないもの——地域包括をキーワードとして……………棚橋さつき

■ 地域で活躍する看護職を育てる教員としてできること——病院、地域で働いた教員の経験から……………浅井直美

■ 地域に貢献するたくましい看護師の育成——まちとともに学び、まちとともに育つ——まずは訪問看護師の活動を参加観察することから始める……………加納佳代子

■ 地域社会とともにある看護師の未来——コミュニティナースの活動の可能性……………奥朋子

■ 看護と介護の連携を学生時代から学ぶ体制の構築を……………益田恵子／豊田百合子／高見清美



Vol.60 No.2

2019 年 2 月

特集

指定規則改正前の今こそ！

未来をみすえたカリキュラムを考える

現在、第 5 回保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正に向け、看護基礎教育検討会が進行しており、多くの看護教員の関心を集めています。もちろん、今後の看護基礎教育において、そこで決定された指定規則が重要な意味をもつことは言うまでもないですが、本来、カリキュラムは、トップダウンで提示されたものに準じるだけではなく、地域の特性や医療、社会の状況を勘案し、現場の看護教員自らが、課題を解決し、カリキュラムを評価し、また改正していくことが大切だといえるでしょう。指定規則改正前である今だからこそ、未来をみすえたカリキュラムを考えるチャンスです。本特集が、みなさまの議論のきっかけになることを願います。

■ [対談] 地域包括ケア時代の看護基礎教育とは——指定規則の改正をチャンスに、自由に、地域に開かれた学校へ……………山田雅子／池西静江

■ 地域のニーズを反映した柔軟なカリキュラム開発——領域横断型カリキュラムにチャレンジしよう……………池西静江

■ 領域横断科目の検討と運営——シラバスの検討から授業、実習の実際まで……………阿形奈津子

■ 1 年生から卒業年度まで、地域で学ぶカリキュラム——「しめの医療と看護」と「しめの看護実習」……………濱川孝二

■ あらためて、カリキュラム評価の意義と方法を整理する……………吉田文子



[2019 年 1 月号 (Vol.60 No.1)]

**VR/AR/MR
教育への応用最前線**

[2018 年 10 月号 (Vol.59 No.10)]

**発達障害の特性がみられる
学生への理解と支援**

[2018 年 12 月号 (Vol.59 No.12)]

**看護教育をとらえる新たな発想——
コンセプト・ベースド・カリキュラム**

[2018 年 9 月号 (Vol.59 No.9)]

**統合実習は
“統合”されているか？**

[2018 年 11 月号 (Vol.59 No.11)]

**「母性」「小児」「老年」の概念を
変える家族のダイバーシティ**

[2018 年 8 月号 (Vol.59 No.8)] (品切中)

実習指導 虎の巻

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2017 年 2 月号 (Vol. 58, No. 2) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2017 年 3 月号 (Vol. 58, No. 3) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。